

令和5年度(令和4年度分) 指定管理者評価表【基本事項】

1. 指定管理施設及び指定管理者概要

施設名称	周南市鹿野高齢者生産活動センター			所管課	高齢者支援課
所在地	周南市大字鹿野中734の4番地				☎ 22-8461
設置年月日	昭和54年11月25日				
設置目的	高齢者の就業機会の増大を図るとともに、生きがいを高めるため、高齢者の経験や技術を生かした生産活動を実施し、併せて高齢者相互の交流及び健康の増進、教養の向上等福祉の増進を総合的に推進する。				
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積…5,974㎡ 建物構造…鉄筋コンクリート平屋建 総床面積…1124.10㎡ 				
指定管理者	名称	社会福祉法人周南市社会福祉協議会			
	代表者	会長 佐原 昌弘			
	所在地	周南市速玉町3番17号			
	連絡先	電話	0834-22-2115	E-mail	kanri@shunan-shakyo.or.jp
	ホームページアドレス	http://www.shunan-shakyo.or.jp			
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日			年数	5年間
募集方法	非公募		料金制度	利用料金	
指定管理の主な業務	<ul style="list-style-type: none"> ・農林産物の加工及び販売に関すること ・食品の加工及び販売に関すること ・特産物の加工及び販売に関すること ・高齢者生産活動センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ・高齢者生産活動センターの利用の許可に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務 				

2. 施設の運営状況

目標管理	目標指標名		年度		R4年度	R5年度	
	延べ利用者数(人)		目標値		4,500	4,500	
			実績値		3,413	—	
施設の稼働状況	利用区分等		利用目標	単位	利用実績	単位	稼働率(%)
	延べ利用者数(令和2年度)		4,500	人	3,179	人	—
	延べ利用者数(令和3年度)		4,500	人	2,693	人	—
	延べ利用者数(令和4年度)		4,500	人	3,413	人	—
指定管理業務に係る収支状況	項目		収支計画額(円)		実績額(円)		
	収入	指定管理料	6,764,000		6,808,871		
		利用料金収入	400,000		363,000		
		その他の収入	0		0		
		計	7,164,000		7,171,871		
	支出	人件費	2,700,000		2,383,534		
		物件費	2,267,000		2,183,341		
		委託料	461,000		461,465		
		その他	615,000		329,800		
		計	6,043,000		5,358,140		
参考	使用料収入						
	自主事業収入						
	自主事業経費						

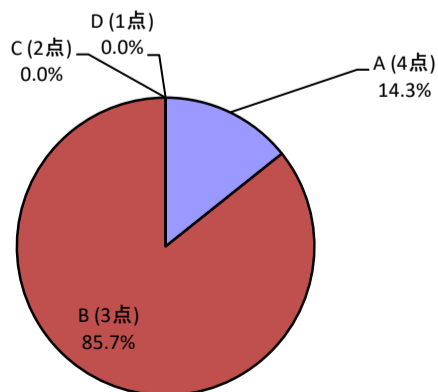
※指定管理料の実績額には、昨年度発生した急激な燃料費高騰に対する市のリスク負担分として増額支払をした44,971円が含まれます

令和5年度(令和4年度分) 指定管理者評価表【評価】

施設名	周南市鹿野高齢者生産活動センター			
指定管理者名	社会福祉法人周南市社会福祉協議会			
項目	評価内容	評価事項・不適切事項等	評価	
全体	目標の達成状況	目標を達成することはできなかったが、前年に比べて利用者数は増加している。前年度は新型コロナウイルス感染症の影響により休館期間があったが、今年度は休館期間がなかったことが利用者の増加に繋がった。イベント等への参加も積極的に行っており、引き続きイベント等を通じてPRに努められたい。	B	
組織	体制・人事	職員配置体制・業務内容ともに適切である。職員に対して社協全体での研修のほか、個別研修を実施してスキル向上に努めている。	B	
業務	業務の運営	協定書や事業計画書等に掲げられた業務は適切に実施されている。	B	
	施設の稼働状況	延べ利用者数は前年に比べて増加している。しかし、利用者登録している人は19人から17人へ減少している。	B	
	施設の維持管理(清掃等)	ローテーションを組み、2人体制で全館の清掃を毎日行っており、施設は清潔に保たれている。さらに衛生管理を徹底したいため、害虫駆除等の実施について市と協議している。	B	
	施設の維持管理(点検・修繕等)	施設や設備の老朽化はあるが、定期点検を実施しており必要な修繕等を行っている。	B	
	緊急時の対応方法	適切な保険に加入している。緊急時のマニュアルも作成されている。避難訓練も年1回実施しており、緊急時の連絡体制も問題ない。	B	
工夫意	サービス向上及び経営改善に関する取り組み	市内のイベントで特産品の販売やPR活動を行う機会が再開し、PR活動を積極的に実施した。利用者の意見を取り入れた活動を行うとともに、伝統工芸の技術の保全と継承に努めている。中学生に対する和紙すき体験等の体験学習も行い、利用者生きがいを広げている。利用者が高齢者であることから、和式便器から洋式便器への修繕について市と協議している。	A	
広報	PR・情報提供の実施状況	ホームページで活動状況等を頻繁に更新し、情報発信に努めている。また、地域の高齢者が主な利用者のため、現在の利用者による口コミや地区社協だよりへの掲載による広報活動に努めている。さらに、地域マーケットに年に4回参加し商品を販売することでPR活動を積極的に行っている。	A	
相談・連携	苦情処理の状況	苦情対応については職員で適切に行われている。朝礼の際に、職員同士で苦情の内容について情報共有が行われている。	B	
	情報共有	市への報告や情報提供は適切にされている。	B	
モニタリング	指定管理経費の経理事務の状況	経理会計は適切に行われている。	B	
	利用者満足度調査における施設満足度	職員の対応についての満足度は高いが、施設の老朽化にともない施設の清潔さ・設備についての不満の声が見られている。必要な修繕については検討していきたい。	B	
	書類の作成・提出	市から依頼する調査等についても、迅速に提出されている。月次報告や年次報告等についても必ず期限内に提出されており、必要な内容も備えている。	B	
評価コメント	目標を達成することはできなかったが、前年度と比べて利用者数は増加している。新型コロナウイルス感染症対策のため自粛されていたイベントが徐々に再開したことにより、地域のイベントに積極的に参加することで商品の販売やPR活動に努められた。和紙すき体験等利用者の技を子供たちに伝えていく体験活動も実施されており、地域の中でも必要な活動の場となっている。現在の利用者の満足度の向上とともに、新たな利用者を増加させる取り組みに努められたい。		総合評価	B
			平均点	3.1

※4点満点

評価結果の割合



※端数処理のため、評価結果(A~D)の割合の合計が100%にならない場合があります。

項目別評価結果

